

皆さまにおかれては、いかがお過ごしでしょうか。

私こと、

この度、3年強の勤務を終え、10月半ばに離任することとなりました。2023年9月末の着任以来、ケベック州、ノバスコシア州、ニューファンドランド・ラブラドール州、ニューブランズウィック州、プリンスエドワードアイランド州の多くの方々から温かいご支援とご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

任期中は、第一に、管轄州における日本の存在感と人気に強く印象づけられました。マンガ、アニメ、ビデオゲームから、日本食・日本酒、映画、文学、建築、武道、音楽、華道、茶道、書道に至るまで、日本の文化はますます幅広い人々の心をつかんでいるように思われます。同時に、日本企業や日本人の方々がこれら地域での活動を積極的に展開され、現地社会に貢献していることを知りました。こうした日本への多面的な関心が、現地の方々の日本語学習への意欲も高めているように思われます。

第二に、カナダの人々が格別に温かく親切であることは多くの人々が語るところ、私自身もこのことを当地で多くの機会に経験することができました。もしカナダでの滞在中に最も印象に残ったことは何かと尋ねられたら、間違いなくこれを最初に挙げることでしょう。

この約3年の間、訪問する先々において、在留邦人や日系コミュニティの皆様、そして日本との関わりを大切にしておられる多くのカナダ人の皆様に温かく迎えていただいたことに深く感謝を申し上げます。日本と管轄各州の関わりをできるだけ直接現場で交流を深めながら理解し、可能であれば関係者をおつなぎすることにより、日本と管轄各州との関係を拡大・深化させることに努めて参りました。2028年には日本とカナダの修好100周年となりますところ、これまで日本と管轄州との間に築かれてきた良好な関係を維持・強化して参りたく、当総領事館に対し、引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、小職からの総領事メッセージはこれが最後になります。拙文をお読みくださった方に改めて感謝します。ありがとうございました。

皆さまのご発展を心よりお祈りします。

在モントリオール総領事 内川 昭彦



マノン・ジャノット・ケベック州副総督への
離任の挨拶（10月1日）



アラン・サン・カルティエ・ケベック州
国際関係・仏語圏省事務次官への離任の挨拶
（10月1日）

*本メッセージは仏・英語にても、メルマガ読者に配信しています。